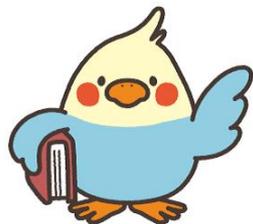


平成30年度（2018年度） 夏学期ショートビジット （TUFS短期海外留学） 説明会



留学推進キャラクター
トビタくん

2018年（平成30年）4月
101教室 留学支援共同利用センター



本学の留学制度について

	派遣留学	ショートビジット (短期海外留学)	休学	
			休学留学	海外研修等
内容	大学間交流協定に基づき協定校への留学	大学指定のプログラム(協定校で実施されるもの)へ参加	①大学間交流協定校に大学を通さずに個人的に留学 ②本学が十分な教育内容とレベルを有すると認めた外国の大学等への留学	個人的に探した語学学校、大学等への留学
学年	第2年次第1学期試験終了後／6か月以上1年未満(外国語学部)	全学年 (博士後期課程を除く)	第3年次以上	全学年
単位認定	可	可(必須) 2単位 忘れずに履修登録すること	留学前に教務課に申請し、認められた場合は可 (ただし、大学院生は不可)	不可
期間	3か月以上1年未満 ／6か月以上1年未満(外国語学部)	2か月未満	原則として6か月以上1年未満	最長2年
授業料	本学へ納入、留学先は免除	すべて本人負担	本学は免除、留学先へ納入	本学の授業料免除、留学先へ納付
学年進行	あり(修学年限、在学年限に通算する)	—	なし(留年)	なし(留年)

本プログラムと個人留学の違い

	ショートビジット	個人留学
申請方法	・本学への申請 ・留学先への申請	留学先に申請
履修登録	「短期海外留学(〇〇大学)」	なし
単位認定	2単位(世界教養科目)	なし
留学前・後教育	あり (CEFR診断、危機管理に関するオンライン教材を受講)	なし
対象	本学協定校のプログラム (情報収集が容易。質の担保。)	各自で探してきたプログラム
奨学金	JASSO奨学金(給付型)制度あり。 人数枠が限られているため、選考有り。	特になし



短期海外留学(ショートビジット)



ドイツ・ギーゼン大学
オクトーバーフェスト



ロンドン大学アジア・アフリカ研究学
院・教室にて



レジャイナ大学・ホストファミリーと



トルコ・アンカラ大学

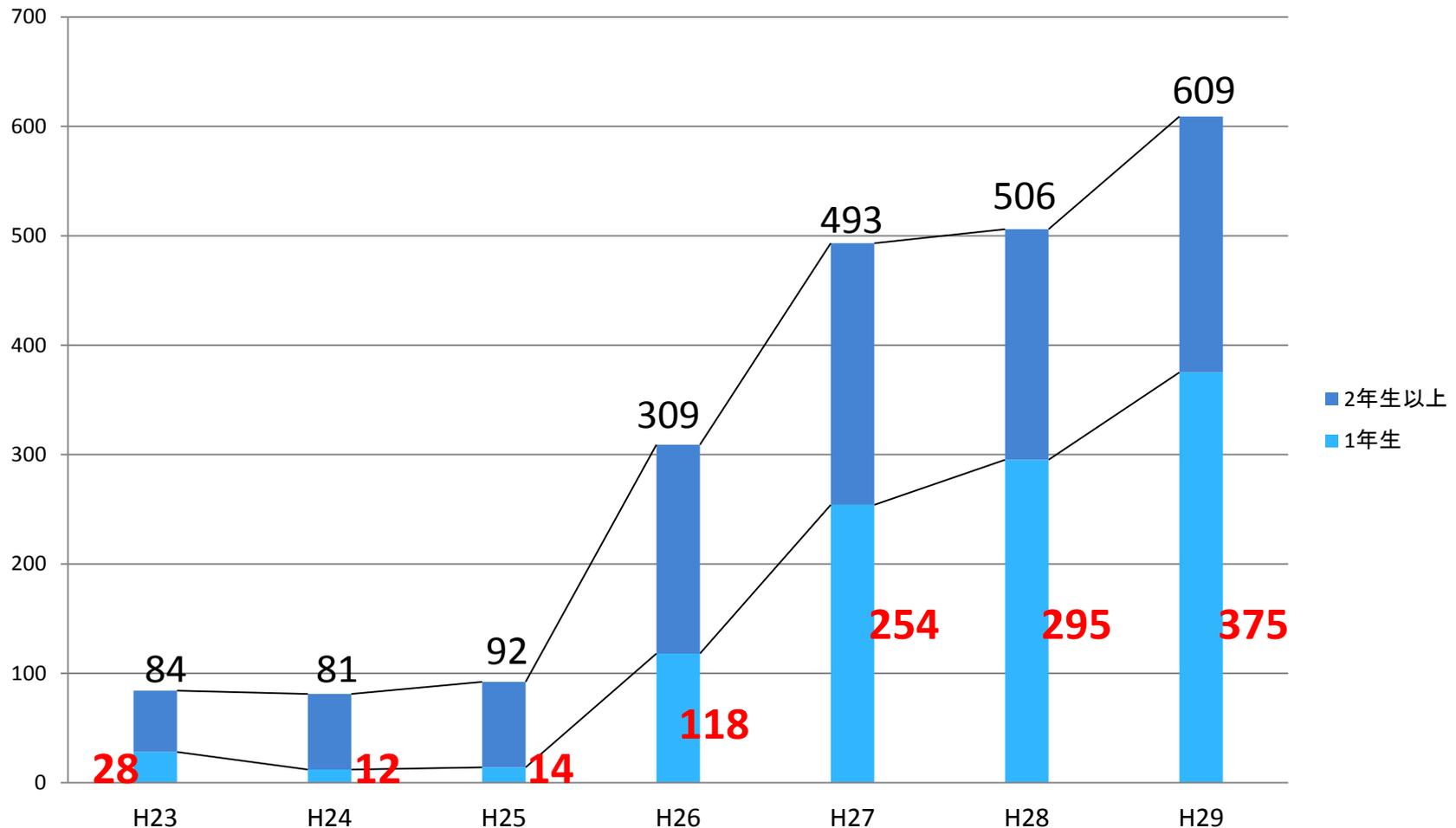
ほとんどのプログラムが参加要件
(TOEFL、IELTSなど)の設定は無し。

言語を学ぶプログラムが中心だが
専門的な科目を学ぶものもあり。

宿泊はホームステイもあり。



短期海外留学(ショートビジット) 参加者数



短期海外留学(ショートビジット)の目的

(留学体験報告からの抜粋)



アイルランド国立大学コーク校:
Language Centerと図書館

語学力の向上

現地の文化・社会をより深く知る

国際交流

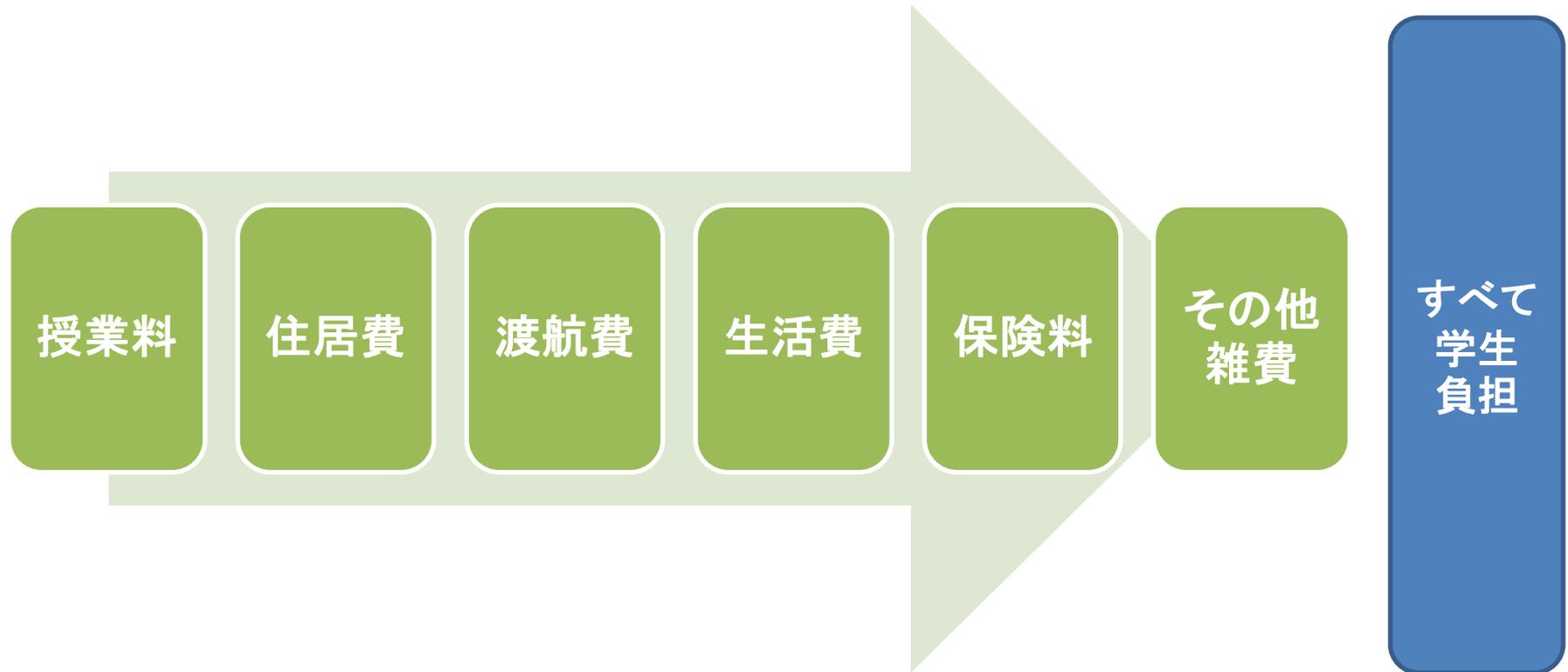
海外で生活するという経験を得る

言語学習に対するモチベーション向上

長期留学に行くための前準備



プログラム参加費用



※各プログラムのホームページを確認すること



ショートビジット参加方法の概要

①プログラムリストの確認

②本学への応募申請

オンラインシステム「e-apply」から申請。応募書類をダウンロード、印刷して留学支援共同利用センターに提出。希望者は奨学金申請も併せて行う。

オンラインシステム(e-apply) : <http://e-apply.jp/n/tufs-5>

③履修登録(履修登録期間中に！)

世界教養科目「海外短期留学(〇〇大学)」を登録する。

④留学先への応募申請、支払い等

各大学のウェブサイト等を確認し、申請、支払いを行う。(大学により手続き方法は異なる。)

⑤保険加入、事前教育の実施、必要書類の提出



① プログラムリストの確認

<http://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/shortvisit/>

トップページ > 在学生の方へ > 留学案内 > ショートビジット
プログラムリストを確認して、参加するプログラムを決める。

HOME > 在学生の方へ > 留学案内 > ショートビジット

ショートビジット

ショートビジットプログラム（短期海外留学プログラム）は、夏学期と冬学期に、本学が指定する交流協定校実施のサマープログラム/ウィンタープログラムから希望先を選んで留学をする制度です。

プログラムリスト

[2018年度夏学期ショートビジットプログラムリスト](#) (3月27日更新)

必要書類

ショートビジット(TUFS短期海外留学)で留学するときに提出が必要な書類

在学生の方へ

授業・履修 →

本学で学ぶ留学生の方 →

大
学
留

「英語で学ぶ総合型」には、プログラムの内容が大学院レベルのものもあるので応募の際は注意が必要。

派遣留学 →

ショートビジット -



①プログラムリストの確認 体験報告書について

留学体験報告から過去のショートビジット経験者の体験報告書を読むことができます。 URL: <https://mdle.tufs.ac.jp/exchangeReport/visit>

トップページ>在学生の方へ>留学案内>留学体験報告>短期海外留学:ショートビジット

The screenshot shows a web browser window with the URL mdle.tufs.ac.jp/exchangeReport/visit. The page title is '留学体験報告' (Study Experience Report). There are two main tabs: '派遣留学体験報告書' (Study Experience Report for Exchange Students) and 'ショートビジット留学体験報告書' (Study Experience Report for Short Visits). The current page is 'ショートビジット留学体験報告書 / 一覧' (Short Visit Study Experience Report / List). On the left, there is a sidebar with a search icon and a list of categories: '2013年までの派遣留学体験報告書', '交流協定校一覧', '留学の種類', '留学支援室', and '体験報告入力'. Below the sidebar is a cartoon penguin character holding a book and a pencil. The main content area is titled '留学について' (About Study) and contains a search form for 'ショートビジット留学体験報告' (Short Visit Study Experience Report). The search form has fields for '国名' (Country), '大学名' (University), and '留学年度' (Study Year), each with a dropdown menu. There is also a 'フリーワード' (Free Word) field and a '検索' (Search) button. Below the search form, a list of reports is displayed, including: '2013年 アイルランド国立大学コーク校', '2013年 アンカラ大学', '2013年 モスクワ大学及びサントペテルブルグ大学', '2013年 ハノイ国家大学・人文社会科学大学及びホーチミン国家大学・人文社会科大...', '2013年 モスクワ大学及びサントペテルブルグ大学', '2013年 アンカラ大学', '2013年 モスクワ大学及びサントペテルブルグ大学', '2013年 アイルランド国立大学コーク校', '2013年 ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院', '2013年 ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院', '2013年 モスクワ大学及びサントペテルブルグ大学', and '2013年 アイルランド国立大学コーク校'.



②本学への応募申請

	奨学金申請あり	奨学金申請なし
提出書類	①ショートビジットプログラム応募申請書 ②奨学金応募申請書 ③所得証明書類(「渡航支援金」希望者のみ)	①ショートビジットプログラム応募申請書

①オンライン登録(e-apply)を行う

次のURLにアクセスし、<http://e-apply.jp/n/tufs-5> 必要な情報を入力すると、以下の2つの書類がダウンロードできるようになるので、ダウンロードし、印刷する。

- ・『ショートビジットプログラム応募申請書』
- ・『奨学金応募申請書』(希望者のみ)

②書類の提出

上記の提出書類を留学支援共同利用センターに提出する。
提出期限：2018年4月20日(金)16時半まで



②本学への応募申請

<e-apply 登録時の注意事項>

- ✓ 留学先リストに掲載の無い大学の場合「**その他**」を選択して、大学名を入力してください。
- ✓ 2つ以上のプログラムに参加することは可能。その場合、参加するプログラムそれぞれについて e-apply に登録してください。ただし、奨学金を申請する場合は、どちらかひとつのプログラムが対象となります。
- ✓ 今年度のプログラム日程が未定のもの（プログラムリスト上で、日程のセルに黄色の背景色が設定されているもの）については、暫定的に、昨年度の日程で、年を「2018」に変更した日付を登録してください。

e-apply 「学び・教育」出願・申込サービス

東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

次の期間はメンテナンスのためサービスが利用できません。2018/04/18(水) 02:00 AM ~ 05:00 AM | メンテナンス時間以外での利用をお願い致します。
インターネットによる出願の受付は、メンテナンス期間中はお休みいたします。
出願する前に必ずお読みください。

① 出願内容の登録
インターネットによる出願を行います。
「はじめに」を事前にご覧ください。

② 出願内容確認を確認する
出願手続き済みの内容について閲覧することができます。
印刷の印刷もこちらから行います。

当サイトの管理運営は株式会社DISCOが行っています。
Copyright 2012 DISCO Inc. All rights reserved.

- ①「出願内容の登録」をクリック。
必要事項を登録して完了
→ メールが届く。

再度、e-applyにアクセスして②「出願内容を確認する」からログインすると、申請書のPDFがダウンロードできる。



②本学への応募申請 ～奨学金について～

- 日本学生支援機構(JASSO)による奨学金
- 金額：月額6～10万円(留学先による、支給型：**返済不要**)
- 支給要件：
 - ◇GPA(前年度)：JASSO換算で**2.3**以上。(3点満点：S,A:3、B:2、C:1、F:0)
(奨学金申請者につき、大学事務局で成績データを確認します。)
 - ◇日本国籍もしくは永住権を有するもの。
 - ◇経済的理由により、自費のみでプログラム参加が困難な者。
 - ◇本プログラムに参加するために、他団体から奨学金を受ける場合、その奨学金の支給月額の合計金額が、本奨学金の月額を超えていないこと。
- 選考方法：
GPAを含め、申請書の内容等を総合的に判断し、受給者を決定します。
- 選考結果発表：
5月11日までに受給者候補を決定し、事務棟前の掲示板で発表します。



②本学への応募申請

～奨学金支給要件について～

● 経済に関する要件

本学から授業料の全額・半額免除措置を受けているもの、JASSO 第二種奨学金在学採用の家計基準に合致するものを優先する。

年収・所得の基準額(目安) 【JASSO第二種奨学金在学採用】

学種	設置者	世帯人数	通学形態	給与所得の世帯	給与所得以外の世帯
大学	国公立	3人	自宅	1,036万円	604万円
			自宅外	1,083万円	651万円
		4人	自宅	1,120万円	688万円
			自宅外	1,167万円	735万円
		5人	自宅	1,288万円	856万円
			自宅外	1,382万円	950万円

上記はあくまでも目安であり、世帯の状況等によって異なります。
給与所得の場合は、源泉徴収票の支払金額(税込)になります。
給与所得以外の場合は、確定申告書等の所得金額(税込)になります。

Excelのツール『家計基準適格性判定表(平成30年度第二種奨学金在学採用)』を使用して、基準を満たすかどうかを確認すること。

基準を超える場合は、『自費のみでプログラム参加が困難であること』の理由を「奨学金申請書」に必ず記載すること。



②本学への応募申請

～奨学金の申請について～

・家計基準適格性判定表ツール

ショートビジット

ショートビジットプログラム（短期海外留学プログラム）は、夏学期と冬学期に、本学が指定する交流協定校実施のサマープログラム/ウィンタープログラムから希望先を選んで留学をする制度です。

必要書類

ショートビジット(TUFS短期海外留学)で留学するときに提出が必要な書類

時期	必要書類
留学先を決定したら	<p>以下の書類を留学支援共同利用センターまで提出。 (期限は説明会にてお知らせします。) 【奨学金を申請しない場合】</p> <ol style="list-style-type: none">1. ショートビジットプログラム申請書 【奨学金を申請する場合】1. ショートビジットプログラム申請書2. 奨学金応募申請書3. 家計支持者の所得証明書類（※『渡航支援金』を希望する場合のみ必要） 上記1、2の書類は、 オンライン申請サイトe-apply（https://e-apply.jp/n/tufs-5）別ウィンドウが開きます）から登録し、プリントアウトする。 (e-applyサイトは現在更新作業中につき、登録は4月以降にお願いします。)<p>✓ JASSO成績優秀の社員についてはこちら (PDF)</p><p>✓ JASSO第二種奨学金在学採用の家計基準適格性判定表は→こちら (判定表は2018年4月2日以降に掲載予定)</p><p>✓ 『渡航支援金』を希望する場合に提出する家計支持者の所得証明書類は以下の通り。</p><ul style="list-style-type: none">✓ 給与所得者の場合：源泉徴収票の写し✓ 給与所得以外の所得がある場合：確定申告書（控え）の写し✓ 所得が無い場合：市区町村役場発行の所得証明の写し

ショートビジットのウェブサイトから『家計基準適格性判定表』をダウンロードしてください。

<http://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/shortvisit/>

給与所得世帯の場合「源泉徴収票」、自営業等の場合「確定申告書(控)」が必要になるため、保護者に確認し、入手すること。
(保護者の扶養に入っていない場合(独立生計者)は、自分自身の所得証明書類)

『家計基準適格性判定表』(Excel)をダウンロードして、各自のPCに保存。

e-applyに登録する前に確認を！



世帯人員①				4	人
主たる家計支持者の収入・所得金額②	給与所得	源泉徴収票等における支払金額	755	万円	
	給与所得以外	確定申告等における所得金額		万円	
従たる家計支持者の収入・所得金額②	給与所得	源泉徴収票等における支払金額	126	万円	
	給与所得以外	確定申告等における所得金額		万円	
本人以外の就学者・就学前の者がいる世帯（該当に人数を入力）③				88	万円
特別控除	合計	1人	自宅	自宅外	
	就学前（幼稚園児等）				
	小学校				
	中学校				
	高等学校	国・公立			
		私立	1		
	高等専門学校 1～3年次	国・公立			
		私立			
	高等専門学校 4、5年次・専攻科	国・公立			
		私立			
	大学	国・公立			
		私立			
	専修学校	高等課程	国・公立		
		専門課程	国・公立		
		私立			
母子・父子家庭④（該当する場合は「1」を入力）				0	万円
障害者のいる世帯⑤（該当する場合は人数を入力）				0	万円
家計支持者が別居している世帯⑥（実費を計上 71万円が上限）					万円
長期療養者のいる世帯⑦（実費を計上）					万円
火災・風水害等により収入減・支出増となった世帯⑧（実費を計上）					万円
本人の就学者控除⑨（必須）				122.5	万円
	大学	国・公立			
		私立		1	52.5
判定【第二種】	所得金額		415	万円	
	特別控除額合計		211	万円	
	認定所得金額		205	万円	
	収入基準額		572	万円	
	家計基準適格性			○	

① 家計支持者のうち給与収入金額の高い方を入力

② 家計支持者のうち給与収入金額の低い方を入力

③ 人数を入力。
④ 金額を入力。
⑤ 該当する場合に「1」を入力。

- ① 世帯人数（自分自身を含めた同一家計の人数）
- ② 家計支持者の2017年の収入・所得金額

給与所得世帯の場合「源泉徴収票」、自営業等の場合「確定申告書（控）」が必要になるため、保護者に確認し、入手すること。

- ③ 小学校、中学校、高校、大学に通っている本人以外の家族の人数
（高校、大学の場合、国公立／私立、自宅通学／自宅外通学の区別有り）

- ④ ひとり親世帯（母子・父子家庭）の場合「1」
- ⑤ 障がい者のいる世帯の場合、人数を入力
- ⑥ 単身赴任者のいる世帯（実費計上）
（水道・光熱費・家賃（自己負担分）の年額）
- ⑦ 長期療養者のいる世帯（実費計上、年額）
- ⑧ 自然災害等の被災をした世帯（実費計上）

- ⑨ 本人の就学状況
本学は「国・公立」に該当。自宅通学／自宅外通学の区別有り。
授業料年額は「53.5」とすること。

判定結果が「○」であれば基準に合致する。「×」であれば基準に合致しない。

（注） 最下段の「家計基準適格性」の「○」は基準内、「×」が基準外。



【2018年度版の判定表】

①奨学金の貸与を申し込む学校の種別		(選択してください)		▼
②世帯人員				人
③主たる家計支持者の収入・所得金額	給与所得	源泉徴収票等における支払金額		万円
	給与所得以外	確定申告等における所得金額		万円
④従たる家計支持者の収入・所得金額	給与所得	源泉徴収票等における支払金額		万円
	給与所得以外	確定申告等における所得金額		万円
⑤本人以外の就学者・就学前の者がいる世帯 (該当に人数を入力)				0 万円
合計		0 人	自宅	自宅外
就学前 (幼稚園児等)				
小学校				
中学校				
高等学校	国・公立			
	私立			
高等専門学校 1～3年次	国・公立			
	私立			
高等専門学校 4、5年次・専攻科	国・公立			
	私立			
大学・短期大学	国・公立			
	私立			
専修学校	高等課程	国・公立		
	専門課程	私立		
		国・公立		
		私立		
⑥母子・父子家庭 (該当する場合は「1」を入力)				0 万円
⑦障害者のいる世帯 (該当する場合は人数を入力)				0 万円
⑧家計支持者が別居している世帯 (実費を計上 71万円が上限)				0 万円
⑨長期療養者のいる世帯 (実費を計上)				0 万円
⑩火災・風水害等により収入減・支出増となった世帯 (実費を計上)				0 万円
⑪本人の就学者控除 (必須)				未入力有 (①, ②) 万円
	国公立/私立	通学形態	授業料年額 (高等専門学校は入力不要)	
	(選択してください)	(選択してください)		万円
所得金額				0 万円
特別控除額合計		未入力有 (①, ②)		万円
認定所得金額		未入力有 (①, ②)		万円
第一種奨学金	収入基準額	未入力有 (①, ②)		万円
	家計基準適格性	—		
第二種奨学金	収入基準額	未入力有 (①, ②)		万円
	家計基準適格性	—		
併用貸与	収入基準額	未入力有 (①, ②)		万円
	家計基準適格性	—		
第一種奨学金の最高月額選択可否 ※高等1～3年生は、4～5年生に進級時の最高月額選択可否について表示	収入基準額	未入力有 (①, ②)		万円
	家計基準適格性	—		

= 人数を入力。
 = 金額を入力。
 = リストから選択。

「大学」を選択

「国公立」を選択

「自宅通学」か「自宅外通学」かを選択

授業料年額は、「53.5」を入力

第二種奨学金の家計基準適格性の判定結果を確認すること。

→「○」基準を満たす、「×」基準を超える

(注) 「判定」における「○」は基準内、「×」が基準外。

②本学への応募申請

～奨学金の申請について～

- 奨学金申請フォームで、授業料の全額免除／半額免除の措置を受けているものは「はい」、受けていなければ「いいえ」を選択する。
- 家計基準適格性判定表を用いて基準に合致するかどうかを確認したうえで、『JASSO第二種奨学金在学採用の家計基準に合致している』の「はい」「いいえ」いずれかにチェックを入れる。
※必ず『家計基準適格性判定表』を用いて、基準を満たすかどうかを確認すること。なお、判定結果に関して、証拠書類の提出を求めることがあります。
- 基準に合致しない場合でも奨学金の受給は可能です。基準に合致しない場合は必ず「自費のみでプログラム参加が困難であること」の理由を「12. 留学の目的、奨学金の必要理由、将来の進路等について自由に記述して下さい。(400字程度)」の欄に具体的に記載すること。
- 奨学金の申請は夏、冬学期につき1人、1回、1校まで（夏、冬学期の両方に留学する場合、両方への奨学金の申請が可能。ただし、夏学期、冬学期の通算プログラム日数が32日以上であること。）



②本学への応募申請 ～渡航支援金について～

- 奨学金受給者に採用された学生で、以下の条件を満たす場合は、奨学金に加えて「渡航支援金」を受給できます。

家計支持者の所得金額(父母共働きの場合は父母の合算額)が以下の金額であること。

給与所得のみの世帯	年間収入金額(税込)が 300万円 以下
給与所得以外の所得を含む世帯	年間所得金額(必要経費等控除後)が 200万円 以下

- 支給金額： 16万円
申請できるのは年間1回のみ。夏学期に受給した場合、冬学期は受給できません。



②本学への応募申請

～渡航支援金の申請方法について～

- 「渡航支援金」の受給を希望する場合は、奨学金申請フォームで『渡航支援金を希望する』に「はい」と回答したうえで、以下の書類を提出してください。

【家計支持者(※)の平成29年の所得を証明する書類】

対象	提出書類	備考
給与所得者	源泉徴収票の写し	会社員、パート、アルバイト
給与所得以外の者	確定申告書(控)の写し	個人事業主、自営業者等
平成29年中の所得がない者	市町村役場発行の所得証明書	年金生活者、専業主婦(夫)、家事手伝い、無職者等

※家計支持者について、父母がいる場合は父母双方、父母がいずれかの場合はその片方、父母がいない場合は家計を支えている者が該当。父母がいる場合は、所得の有無を問わず父母双方の書類を提出すること。

※上記「提出書類」に記載のない書類による証明は認められません。

提出期限：2018年4月20日(金)16時半まで



奨学金申請

今回の募集にあたり知り得た個人情報は、奨学金申請手続の用途以外には使用しません。また、本件の事務処理に関連し、文部科学省及び日本学生支援機構（JASSO）へ直接、メール送信または問い合わせを行う場合があります。

了解いただける場合は、「同意する」にチェックを入れてください。

同意します。

1. 学籍番号

2. 氏名

3. 国籍が日本以外の場合、在留資格

4. 本学の授業料全額免除措置を受けている。

 はい

本学から授業料の減免措置を受けている場合は、該当するものに「はい」

5. 本学の授業料半額免除措置を受けている。

 はい

6. JASSO第二種奨学金在学採用の家計基準について：下記のサイトに掲載されている「家計基準適格性判定表」を使用して、判定結果を確認してください。

判定結果が「○」の場合は、基準に合致します。「×」の場合は、基準に合致しません。

<http://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/shortvisit/>

なお、判定結果について、証拠書類の提出を求めることがあります。

家計基準適格性判定表の結果

○であれば「はい」、×であれば「いいえ」

JASSO第二種奨学金在学採用の家計基準に合致している。

 はい

7. 渡航支援金について：奨学金受給者に採用されたもののうち、以下の条件を満たすものについて渡航支援金が支給されます。

・給与所得のみの世帯の場合：年間収入金額（税込）が300万円以下であること。

・給与所得以外の所得を含む世帯の場合：年間所得金額（必要経費控除後）が200万円以下であること。

※渡航支援金を希望するに「はい」と回答する場合は、家計支持者の所得を証明する書類を提出すること。（給与所得のみの場合：「源泉徴収票」の写し／給与所得以外の所得を含む場合：「確定申告書（控）」の写し）

渡航支援金を希望する。

 はい

渡航支援金を希望する場合は「はい」、希望しない場合は「いいえ」

8. ショートビジットのためにJASSO以外に奨学金を受給しますか？

 はい

9. JASSO以外の奨学金を受給している場合、奨学金名と月額を記入してください。

奨学金名

月額

10. 留学の目的、奨学金の必要理由、将来の進路等について自由に記述してください。（400字程度）

ショートビジットのために、JASSO以外に給付型の奨学金を受給する場合は「はい」、そうでなければ「いいえ」



③履修登録・単位認定(学部生)



- 4月11日～17日の履修登録期間に、**自身で履修登録**

言語文化学部生
国際社会学部生

短期海外留学(〇〇大学)
履修コード: **180xxx**

先頭が"**180**"で始まる
数字 **6** 桁の履修コード



- 成績評価について

言語文化学部生
国際社会学部生

世界教養科目の単位として卒業所要単位とすることが可能。
一般の科目と同様の成績評価がされるが、**GPA算出の対象外**となる。

- 単位認定にあたっては、以下が必要となります。

「留学前後教育プログラム」の受講(e-learning)
プログラムへの参加(成績証・修了書をもらうこと)
帰国後の報告書提出



③履修登録・単位認定(大学院生)



- 留学先が決定したら、**指導教員の許可**を得る(本学への申請時、申請書に署名・捺印をもらう。)
- 履修登録は、**不要**。
申請書に基づき、事務局で登録手続きを行います。
- 単位認定にあたっては、以下が必要となります。
 - ・「留学前後教育プログラム」の受講(e-learning)
 - ・プログラムへの参加(成績証・修了書をもらうこと)
 - ・帰国後の報告書提出



④ 留学先への応募申請、支払い等

- 各自で留学を決めたらすぐに行く。
※E-applyの申込み手続き(本学)と留学先の申込み手続きは別物!
- 先着順のプログラムがほとんどのため、申請は早めに。
(プログラム代金の支払い期日、方法などは留学先によって様々。)
- UCサンディエゴ校、レジャイナ大、カイロ大については、留学支援共同利用センターで申請を取りまとめる。
(別途説明会を実施します。)
- トルコ語、ベトナム語、ビルマ語のプログラムについては、各専攻語教員の指示に従うこと。
(なお、SV応募申請、奨学金申請は期日までに必ず行ってください。)



⑤ 保険の加入、その他

- 保険は原則として全員、本学指定のもの(学研災付帯海外留学保険)に加入します。
- 学研災(学生教育研究災害傷害保険)に未加入の学生は、必ず加入手続きをしてください。(学生課にて)
- 保険の詳細については、5月下旬、6月上旬に行われる「保険説明会」で説明します。
5月31日(木)、6月1日(金)、6日(水) 11:50~@101教室
- 海外留学保険に加えて、希望者は危機管理サービス(OSSMA: Oversea Student Safety Management Assistance)にも加入できます。詳細は、保険説明会にてお知らせします。



注意！

- ✓ プログラムリストは順次アップデートされます。随時、ウェブサイトを確認してください。
- ✓ 費用・手続きの方法は、留学先により異なります。一部を除き、留学先大学への申込みは、各自で行うこと。
- ✓ 申し込み後、**留学先を変更もしくは、キャンセルする場合は速やかに留学支援共同利用センターに連絡**すること。
- ✓ 各連絡は、学務情報システム等のHP上、またはE-applyに登録したPCメールアドレスに届きます。



スケジュールまとめ

4月17日(火)19:30まで

履修登録



4月20日(金)16:30まで

E-apply

奨学金申込み

必要書類提出



申込期限までに(各プログラムごとに異なる)※早めに!

留学先への申請(3か月前が一般的)

ビザの申請等



渡航2か月~3週間前まで

渡航前オリへの参加、留学前教育の実施、必要書類提出、保険加入



夏学期

ショートビジットプログラムに参加



ドイツ・ハンブルク大学のプログラムについて

(プログラムリストの番号40)

ハンブルク大学では、毎年夏に、日本・韓国・台湾の学生向けにドイツ語学習のコースを実施しています。

(CEFR レベルA1-A2を対象(初心者、初級者向け))

本プログラムは申込みの〆切が過ぎていますが、参加できる可能性もあります。参加を希望する場合は以下の通りご対応ください。

-
- ・申込み期限: **2018年4月6日(金)16:30** まで
 - ・申込方法: 期日までに、メールで以下の点をお知らせください。
メールタイトル: 【夏学期SV】ハンブルク大学サマースクール申込み
本文に、学籍番号、氏名、連絡先(メールアドレス)を明記
メール送信先: ryugakushien [at] tufs.ac.jp (留学支援共同利用センター)

先方に確認のうえ、参加の可否をお伝えします。参加可能となった場合、応募手続きの詳細をお伝えします。



【重要】まとめて申し込む大学について

- カリフォルニア大学サンディエゴ校説明会

日時：4月23日（月） 11時50分より

会場：研究講義棟 100講義室にて

※英文の残高証明、クレジットカード、パスポートコピーを持参のこと

- カイロ大学説明会（申請方法等について）

日時：4月25日（水） 12時より

会場：研究講義棟 100講義室にて

- レジャイナ大学 申請書記入を含む説明会

日時：4月27日（金） 11時50分より

会場：研究講義棟 100講義室にて



大学別説明会のお知らせ



UCC

University College Cork, Ireland
Coláiste na hOllscoile Corcaigh

アイルランド国立大学
コーク校 (UCC)

2018年4月9日 (月)

11:50 – 12:30 @ 226教室

(研究講義棟2階)



DEAKIN

UNIVERSITY AUSTRALIA

オーストラリア
ディーキン大学

2018年4月19日 (木)

11:50 – 12:30 @ 115教室



大学別説明会のお知らせ



De La Salle University

フィリピン

デラサール大学

2018年4月17日(火)

12:00 – 12:30 @ 109教室

(研究講義棟1階)



UNIVERSITY OF OULU

フィンランド

オウル大学

2018年4月17日(火)

11:50 – 12:30 @ 104教室

(研究講義棟1階)



英語を学ぶプログラムに関して

夏学期ショートビジット英語圏説明会

2018年4月13日(金)、16日(月)

11:50 - 12:30@101教室

英語コース(英語を学ぶプログラム)について、留学先の特色やプログラム内容について説明します。

(対象国)

アメリカ、カナダ、イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド、フィリピン、台湾(開南大学『英語と台湾文化』)



今後のオリエンテーション等について

- 奨学金受給予定者説明会（5月16日、18日）
 - 渡航前オリエンテーション（5月25日、28日）
 - 保険説明会（5月31日、6月1日、6日）
- 時間・場所はいずれも 11:50～12:30、101教室。
説明会については本学ウェブサイトの「お知らせ欄」でも確認できます。

＜問い合わせ先＞

留学支援共同利用センター

本部管理棟（事務棟）1F

メールアドレス：ryugakushien@tufs.ac.jp

電話番号：042-330-5113

